

# 戦争させない 市民が平和つくる主人公に

## シンポジウム 開く

東アジアの平和をどうつくるのかについて議論するシンポジウムが7月24日、都内で開かれました。岸田政権のもとで高まる東アジアの軍事的緊張をどう緩和するのか、平和をつくる主体としての市民社会の役割など、活発な議論がかわされました。



◀ シンポジウムの動画はこちら



「いま東アジアの『平和の準備』をどう進めるか」と題したシンポジウム(主催は、全国革新懇、日本原水協、日本平和委員会、安保破棄中央実行委員会でつくる「7.24『平和の準備』実行委員会」)。パネリストは、日本共産党の志位和夫議長、室蘭工業大学の清末愛砂教授(オンライン参加)、新潟国際情報大学の佐々木寛教授、山口大学の繩嶋厚名誉教授(兼コーディネーター)=東京・明治大学駿河台キャンパス

日米  
2+2  
合意

## 自衛隊が事实上 米軍の指揮下に



日米安全保障協議委員会(2プラス2)に臨む日米の閣僚ら=7月28日、都内(代表撮影) 写真:毎日新聞社/アフロ

日米の外交・軍事担当閣僚による安全保障協議委員会(2プラス2)は、在日米軍を再編して「統合軍司令部」を設置し、自衛隊に新設する「統合作戦司令部」との相互運用を強化することなどを合意。自衛隊を米軍の戦争態勢に深くくみこみ、「敵基地攻撃」を実際に行うための危険な動きは絶対に許せません。

